

第2回 あびこeモニターアンケート 「消防車、救急車等の緊急走行及び救急車の適正利用について」集計結果

アンケート送信日	令和2年8月3日（月）
実施期間	令和2年8月3日（月）から令和2年8月16日（日）まで
登録者数	265名
回答者数	209名
回答率	78.87%

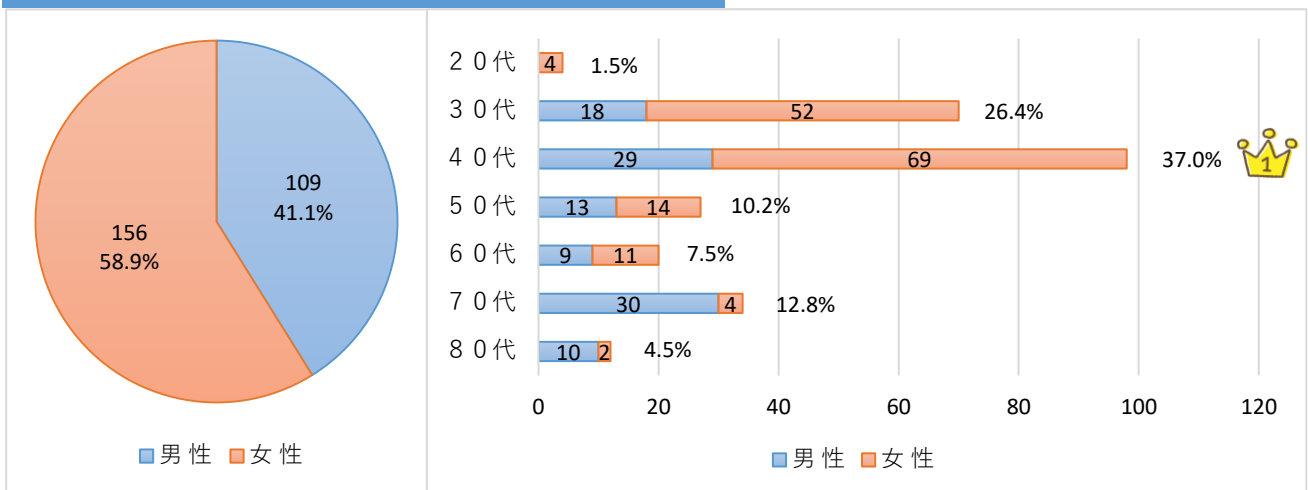
<担当課> 消防本部・総務課

<実施の目的>

消防本部では、消防車、救急車等の交通事故防止に努め、災害出場しております。また、救急車の出場件数は年々増加傾向にあり、緊急走行の回数も増えています。そのため、消防車、救急車等が緊急走行することについて、市民の皆様がどのように感じているのか意見を伺い、消防車、救急車等が安全でいち早く現場到着するための参考とするため、アンケートを実施します。

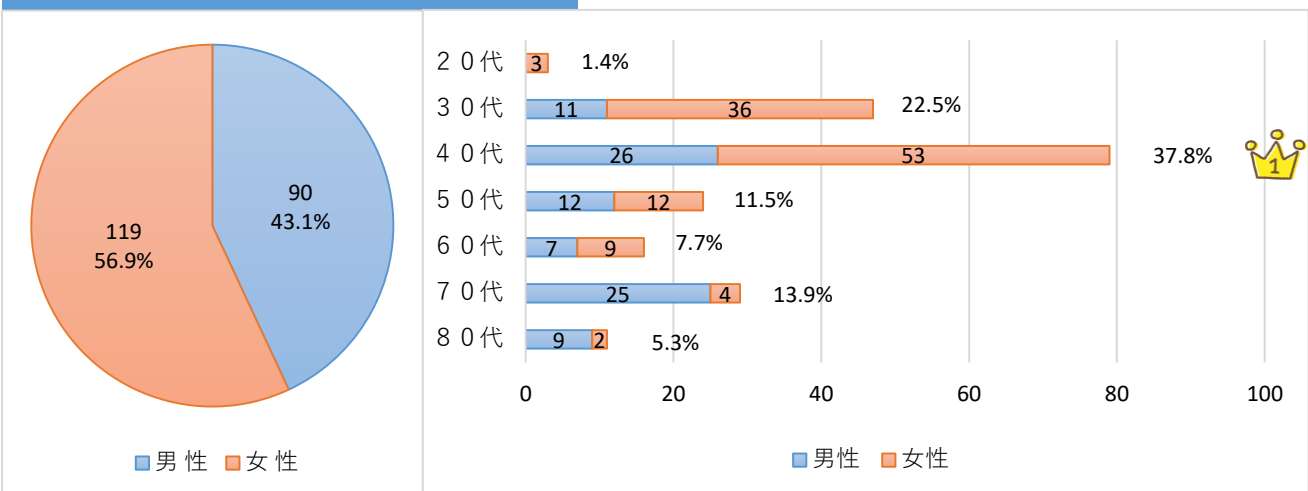
<あびこeモニターアンケート登録者の内訳>（人）

令和2年8月17日現在



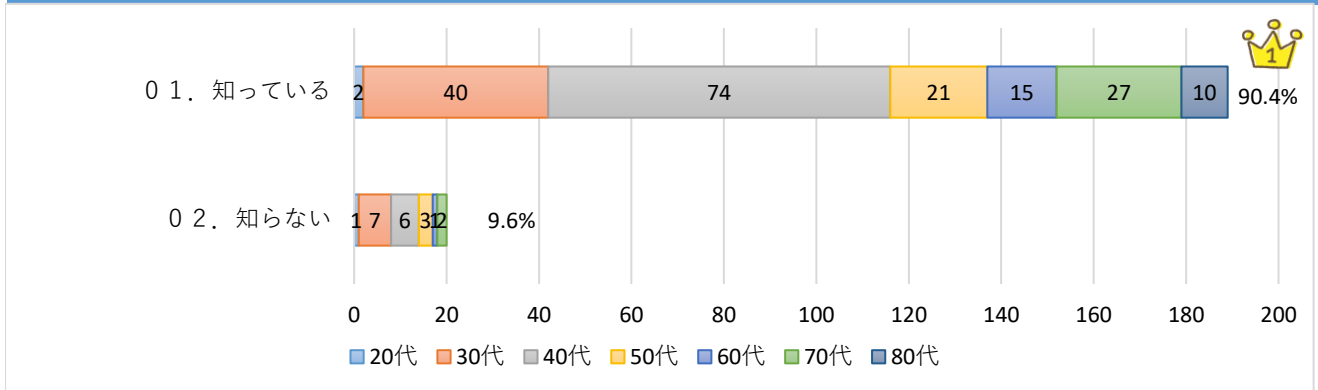
<アンケート回答者の内訳>（人）

令和2年8月17日現在



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

問1 消防車、救急車等は、赤色の警光灯を点け、サイレン又は鐘を鳴らさなければ緊急走行ができないことを知っていますか。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

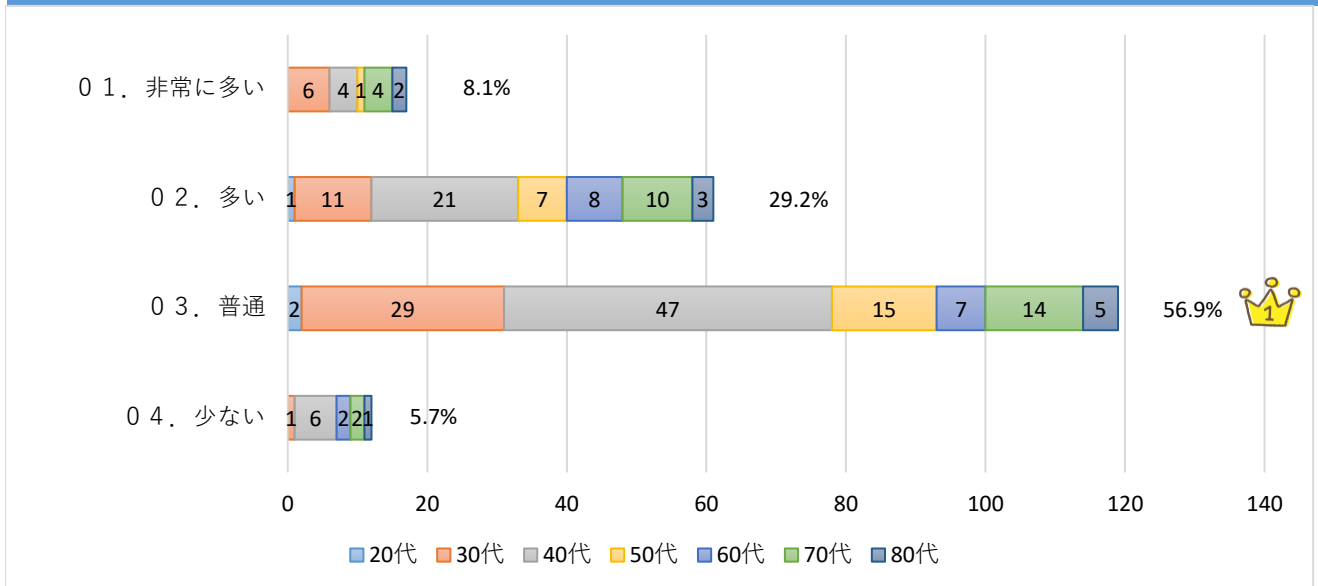
<コメント>

緊急走行するためには赤色の警光灯を点け、サイレン又は鐘を鳴らさなければならないことを「知っている」と答えた方が約90%を占める割合となりました。

ホームページに「サイレンの吹鳴（すいめい）について」

(http://www.city.abiko.chiba.jp/anshin/shobou_kyukyu/onegai/sairen.html)を掲載し、お知らせしていますが、さらに市民の方にご理解いただけるように、情報を発信していきたいと思えます。

問2 消防車、救急車等の緊急走行の回数についてどのように思いますか。

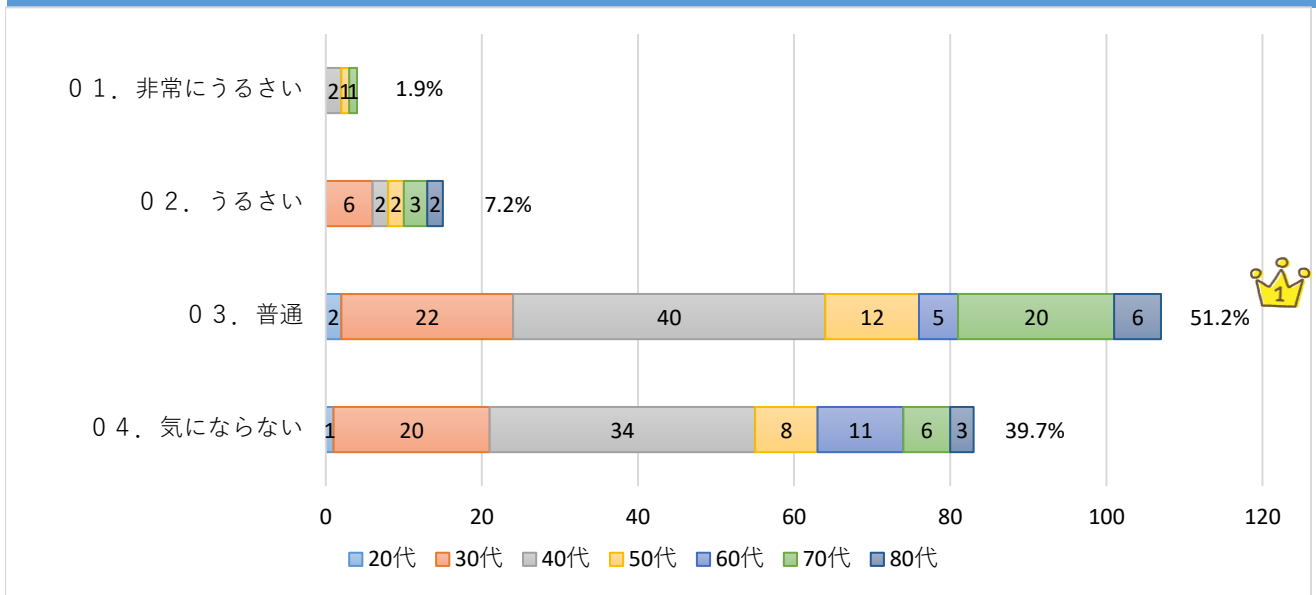


※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

<コメント>

緊急走行の回数について「普通」と答えた方が過半数を占める割合となり「非常に多い」、「多い」と答えた方の合計は約37%となっております。その理由として、令和元年中の救急車の出場件数が6489件となっており、10年前と比べると年間約2千件増えているため、多いと感じているのではないかと考えられます。この結果を参考にし、病気やケガの予防、災害の予防について啓発していきたいと思えます。

問3 消防車、救急車等が緊急走行しているときのサイレン音についてどのように思いますか。

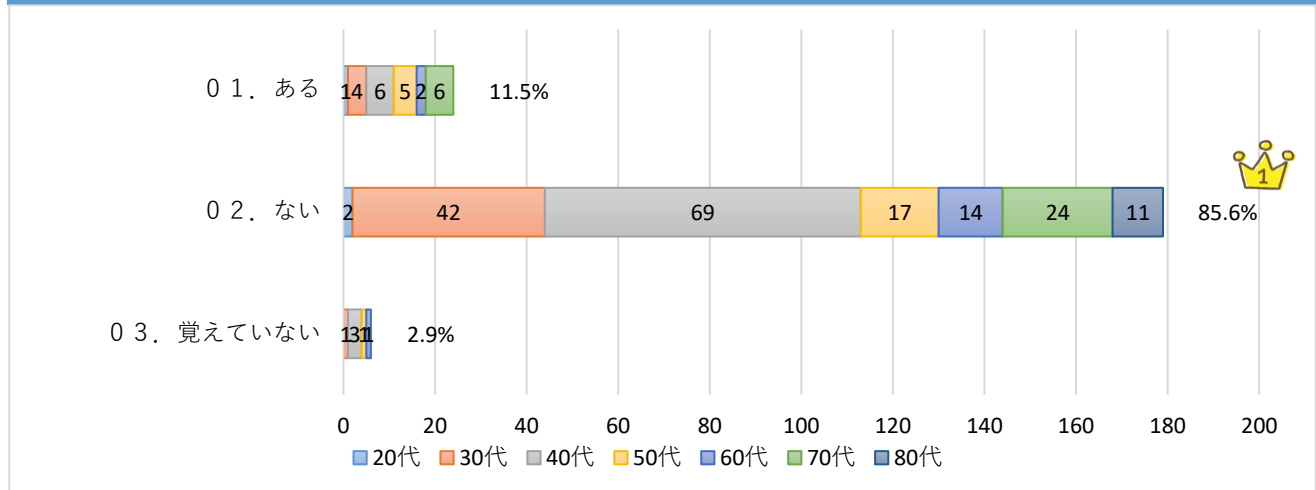


※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。(次ページ以降も同じ。)

<コメント>

消防車、救急車等のサイレン音について、「普通」と答えた方が約51%、「気にならない」と答えた方が約40%となりました。この結果から、消防車、救急車等のサイレン音についてはある程度、許容されていることかと思えます。しかし、約9%の方は「非常にうるさい」、「うるさい」と答えているため、「サイレンの吹鳴について」ご理解いただけるように情報を発信していきたいと思えます。

問4 消防車、救急車等が緊急走行しているときに、あなたが危険だと感じたことがありますか。



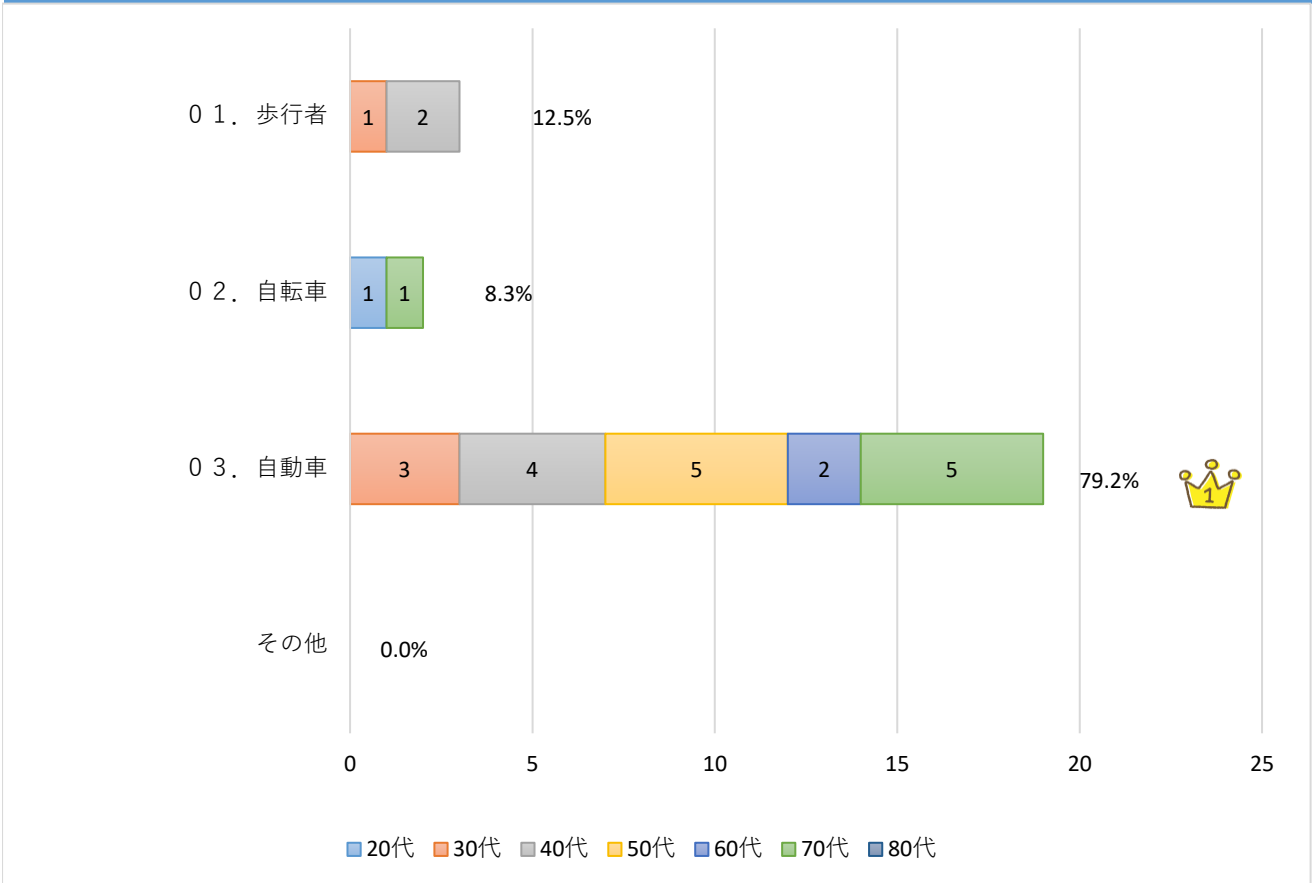
※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。(次ページ以降も同じ。)

<コメント>

消防車、救急車等が緊急走行しているときに危険だと感じたことが「ない」と答えた方が85%を超える割合となりました。

しかし、危険だと感じたことが「ある」と答えた方が約12%いるため、消防車、救急車等を運転する職員に対し、これを機に改めて安全運転を心掛けるよう徹底していきたいと思えます。

問5 問4で「01. ある」と回答した人にお聞きします。その時のあなたはどの立場でしたか。



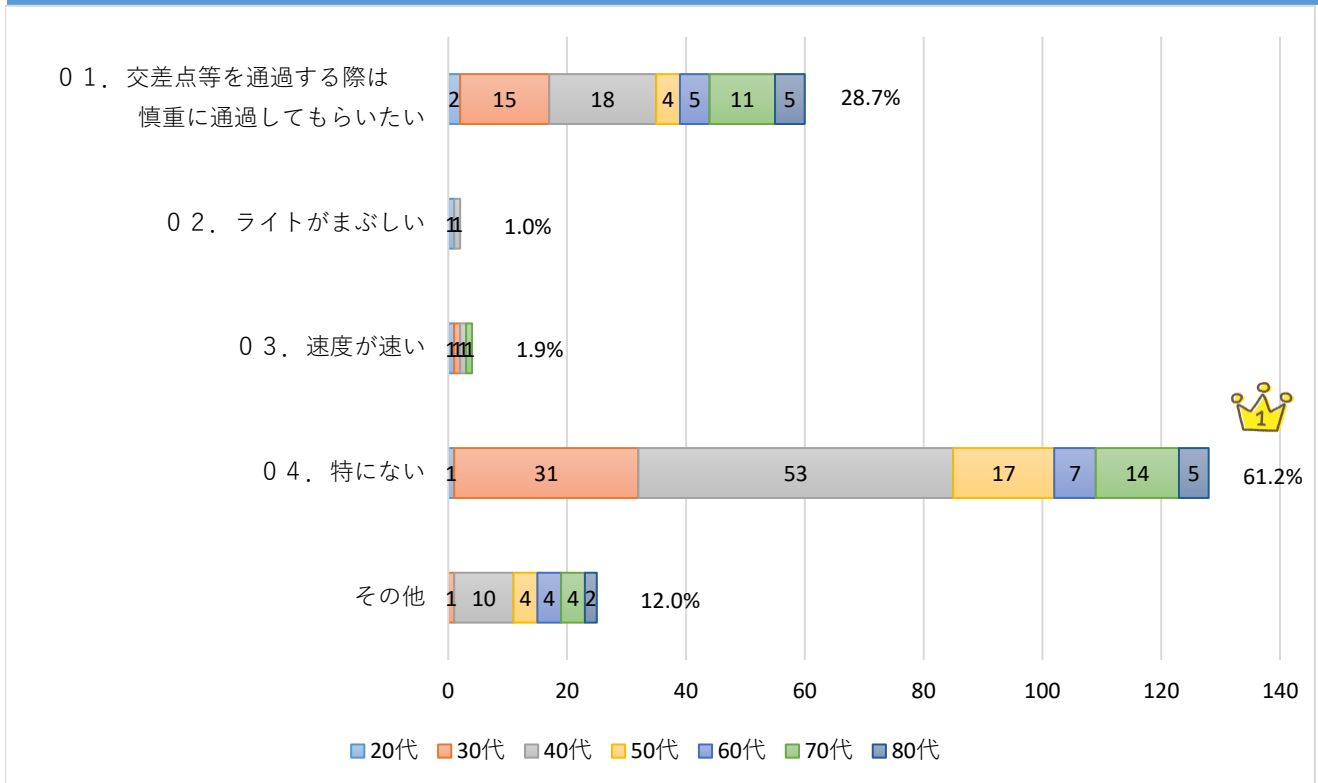
※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

<コメント>

「ある」と回答した方のうち、「自動車」での立場で危険と感じたことがある方が約79%、「歩行者」が約13%、自転車が約8%という結果となりました。

緊急走行には細心の注意を払って運転しているところですが、それでも危険と感じる方がいるということを真摯に受け止め、引き続き、市民の皆様の安全・安心を守るためにも、運転技術の向上に努め、安全運転を心掛けていきたいと思えます。

問6 消防車、救急車等が緊急走行していることに対して感じることはありますか。（あてはまるものをすべてお選びください。）



※複数選択のため、パーセントは当該選択肢を選んだ方を回答者の中で割った数値となっております。

【その他回答】

- ・消防車等が緊急走行をしているのに、協力する車両が少ないと感じる。（同様の意見多数あり）
- ・もう少しスピードを出してもいいと思う。（同様の意見複数あり）
- ・サイレンを大きくするなどさらに目立つようにした方がいい（同様の意見複数あり）
- ・大変危険な仕事と思い、感謝している。（同様の意見複数あり）
- ・避け方が難しい。免許更新の時の講習の一部にしたらどうでしょうか。
- ・安全第一での慎重な走行に期待しています。
- ・救急車については、例えば先読みができる状態で法定走行速度で流れている場合などは、サイレン音を低くするなどして、走行の流れを作る工夫があっても良いのではないのでしょうか。ガードレールのある場所は縁石の突出をもう少し小さくするとか、一般車両が退避しやすいように道路環境を工夫してもいいと思います。
- ・深夜、住宅地などに緊急に来るときはサイレンの音を少し小さくするとか付近まで来たらサイレンは止めるとかは出来ないのでしょうか。
- ・緊急走行には理由があるのだから、何はともあれ最優先で通過してもらえよう努力する。
- ・緊急なのだからサイレンがうるさいとか緊急走行が危ないとか言っている場合ではないと思う。
- ・子供が珍しそうに見ます
- ・今のところ利用する用事がないから
- ・搬送される方の様態は大丈夫かなと心配している。
- ・特に問題と感じたことは有りません。

<コメント>

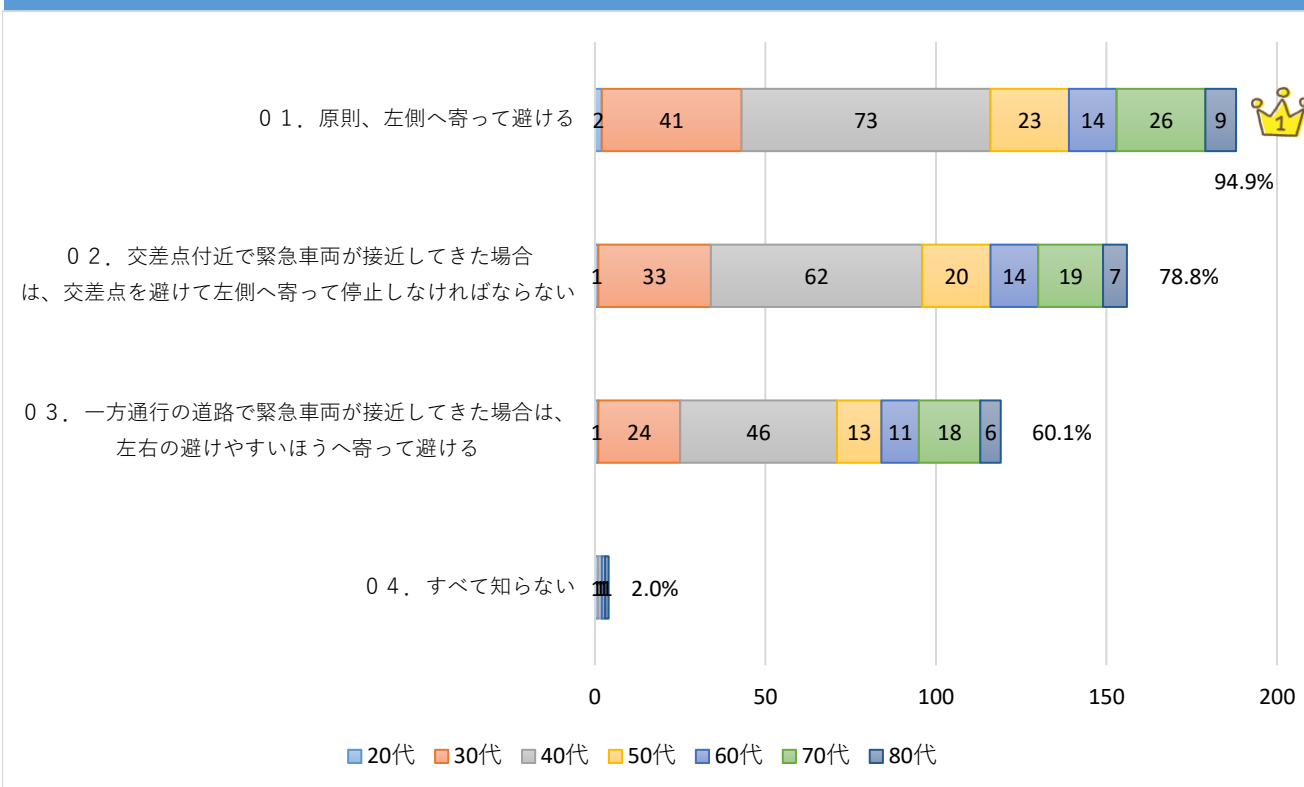
緊急走行していることに対して「特にない」と回答した方が約61%で、半数以上が緊急走行に対する理解が得られていることがわかりました。

しかし、「交差点を通過する際は慎重に通過してもらいたい」と回答した方が約29%、「ライトがまぶしい」と回答した方が1%、「速度が速い」と回答した方が約2%いることから、緊急走行する際は、交差点等の通過をはじめ、安全運転に努めたいと思います。

また、「その他」と回答した方が12%で、その内容については、緊急走行に対する激励のお言葉が多く、皆様から応援していただいていることに大変うれしく思います。しかし、これらに甘んじることなく、常に危険が潜んでいることを念頭に安全・確実・迅速に対応したいと思います。

なお、貴重なご意見は今後の参考にさせていただきたいと思いますが、緊急走行やサイレン音等につきましては、法令等を遵守しなければなりませんので、どうかご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

問7 自動車を運転する人にお聞きます。緊急車両が緊急走行してきた際取るべき行動の中で、知っているものをすべてお選びください。

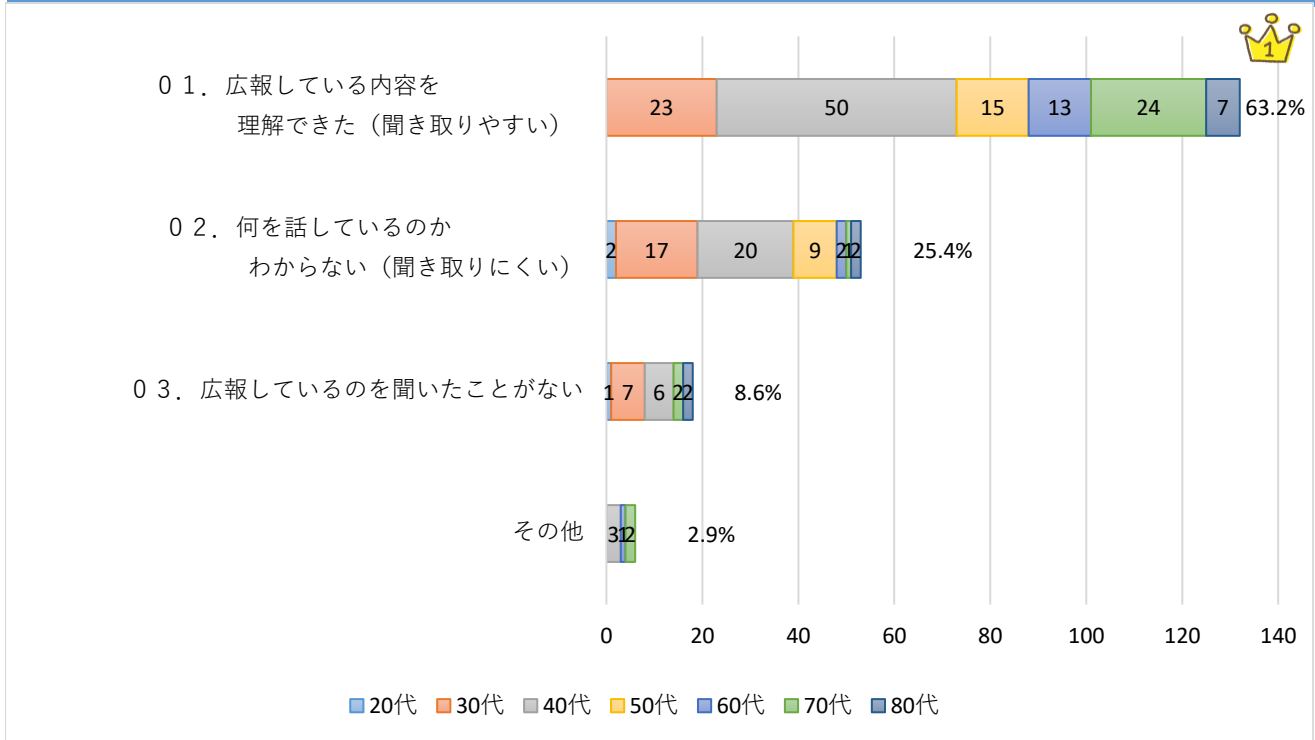


<コメント>

自動車を運転している方の中で緊急車両が緊急走行してきた際取るべき行動の中で知っているものについて、3つの項目については、半数以上が知っているという結果になりました。しかし、「すべて知らない」と回答した方が2%いることから、緊急車両が緊急走行してきた際取るべき行動について、ホームページ等に掲載し、周知していきたいと思います。

自動車を運転する方は教習所等で教わっていると思いますが、これらの対応について、今後とも緊急車両が走行してきた際はご協力をお願いいたします。

問8 消防車、救急車等が緊急走行しているとき、注意喚起のため、マイクで広報することもあります。どのように感じますか。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。(次ページ以降も同じ。)

【その他回答】

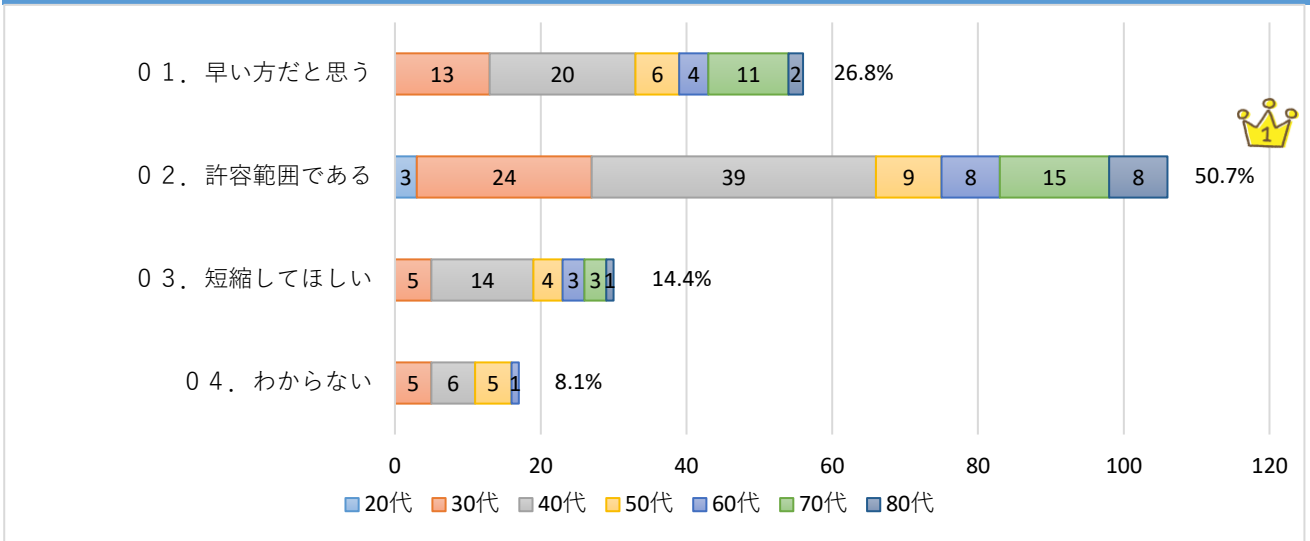
- ・聞き取れるときと聞き取れないときがある。(同様の意見複数あり)
- ・赤色の警光灯とサイレン又は鐘で周囲への注意喚起は十分できているので、アナウンスは上から目線の注意ではなく、安全通過に対する協力をお願いを繰り返し訴え続けたほうが効果的だと思います。
- ・緊急走行であるので、広報の内容如何にかかわらず、進路を妨害しないよう行動する
- ・簡単な内容でも、運転手にとっては(片寄せしにくいところなど)場所によっては慌ててしまっ分分からなくなりがちだと思われる。広報を聞いてというより周りの車の行動に合わせている。

<コメント>

緊急走行時にマイクで広報していることについて、「広報している内容を理解できた(聞き取りやすい)」と回答した方が約63%となりました。半数以上が理解していただけていると思いますが、「何を話しているのかわからない(聞き取りにくい)」と回答した方が約25%いることと、「その他」として回答した方から、聞き取りやすいときと聞き取りにくいときもあるとの意見もあるため、マイクで広報する際は、相手に聞き取りやすい話し方、音量に留意したいと思います。

また、緊急車両が緊急走行してきた際にマイクで広報したことについては、慌てずに安全を確認したうえで行動してください。

問9 119番通報から救急車が到着するまで全国平均8.7分、我孫子市は平均8.2分かかっていますが、このことについてどう思いますか。

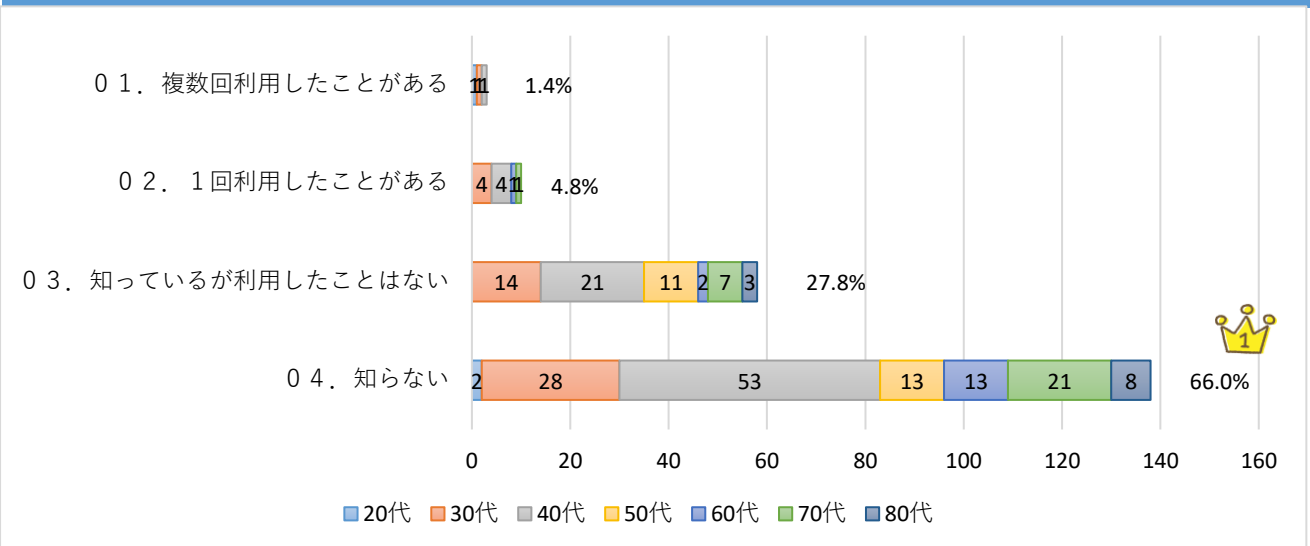


※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。(次ページ以降も同じ。)

<コメント>

約78%の方が早い方、許容範囲内であると考えていることがわかりました。119番通報から救急車が現場に到着するまでの時間は、年々延伸傾向にあります。平成20年の全国平均は7.7分でした。今後も、迅速な出場を心掛けていきます。

問10 病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷った時に看護師からアドバイスを貰える救急安心電話相談「#7009」を知っていますか。

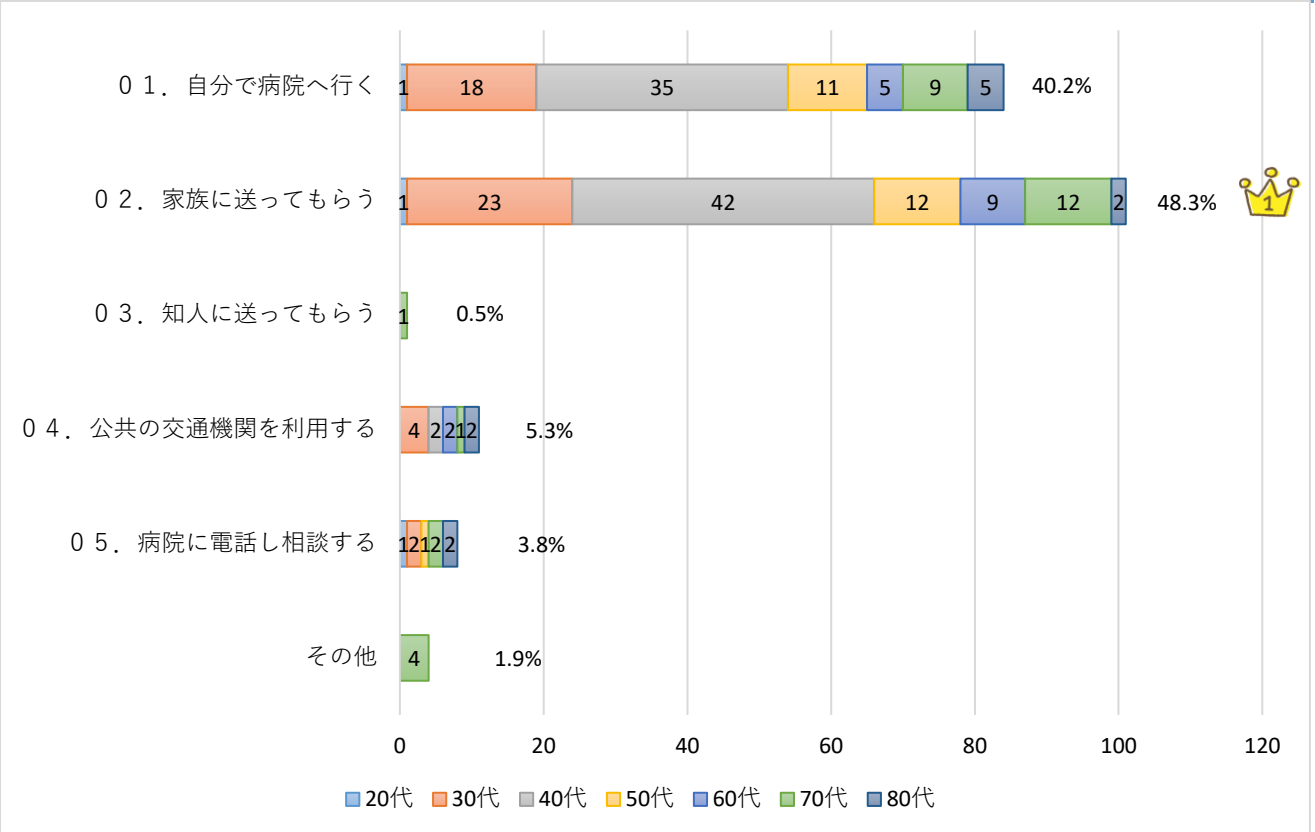


※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。(次ページ以降も同じ。)

<コメント>

知らないと答えた方が66%と救急安心電話相談「#7009」という事業が十分に知られていないことがわかりました。また、1回でも利用したことがある人は約6%でした。ホームページ(http://www.city.abiko.chiba.jp/anshin/shobou_kyukyu/izatoitoki/7009.html)、SNS等を使用し、啓発を実施します。救急安心電話相談「#7009」が広く住民に周知され、より効果的な救急搬送・医療体制の構築に寄与することを目指します。

問 1 1 救急車でいなくても対応できるケガや具合が悪くなった場合、どうやって病院へ行きますか。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

【その他回答】

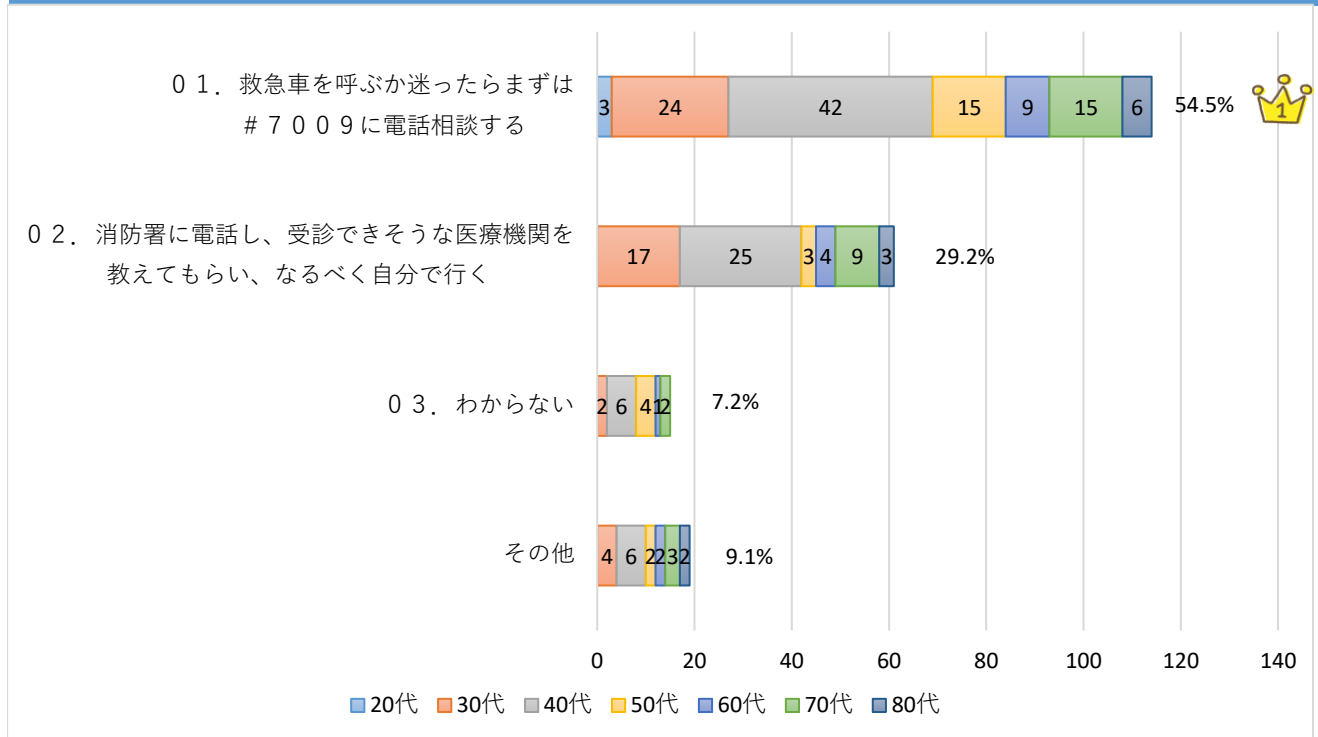
- ・ タクシーを利用する（同様の意見複数あり）
- ・ 自分、家族、知人。状況次第

<コメント>

約 8 9 %の方が自分、家族の力で病院を受診すると考えていることが分かりました。

症状によっては、緊急の受診が必要となる場合もあります。救急車を呼ぶか迷った際には、救急安心電話相談「# 7009」に相談すると、緊急性、応急手当の方法、受診手段、適切な医療機関等のアドバイスが受けられます。

問12 救急車を適正利用するためにはどうすれば良いと思いますか。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。（次ページ以降も同じ。）

【その他回答】

- ・救急車の利用を有料化する。（同様の意見複数あり）
- ・#7009をさらに周知する。（同様の意見複数あり）
- ・消防署やかかりつけ医に判断を仰ぐ。（同様の意見複数あり）
- ・不適切な利用を繰り返す人を公表する。（同様の意見複数あり）
- ・迷う程度では、救急車は呼ばない。緊急性があれば、救急車を呼ぶ。（同様の意見複数あり）
- ・小学校から徹底して教えるべき。
- ・自分で調べて行く。
- ・適正利用しない人にデメリットを設けるか、救急車を利用しなかった人にメリットがあると良いかと思います。
- ・ルールを明確にする。例えば#7009から転送するなど。
- ・119と#7009の統合
- ・110番通報
- ・（明らかに救急車を利用するほどではない）急病や急な怪我の場合のタクシー利用の補助。

<コメント>

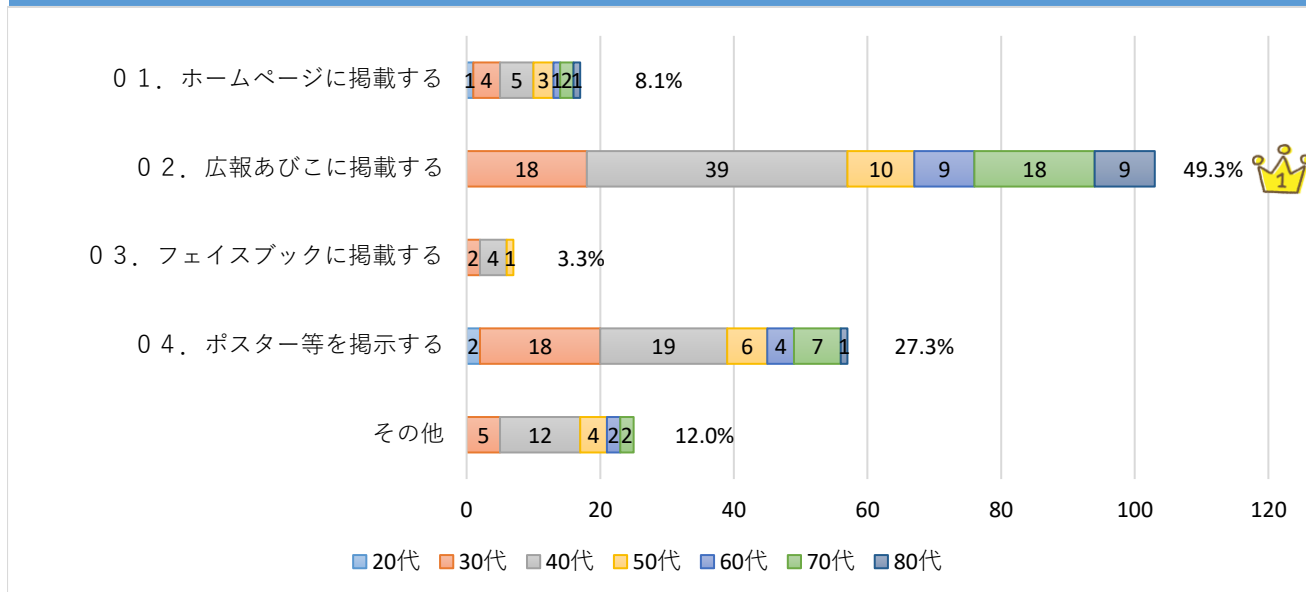
救急安心電話相談「#7009」への相談、消防署から受診できそうな病院を教えてくださいことが、救急車の適正利用につながるとの意見が約84%ありました。

近年、救急車の出場件数・搬送人員はともに増加傾向にあり、救急車の現場までの到着時間も遅くなっております。

緊急性の低い救急車の利用は、一刻を争う重症患者の救急搬送に支障を与えかねません。本当に必要なときに、救急車を安心して利用するためには、救急車の正しい利用が不可欠です。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

問13 消防車、救急車等が緊急走行して接近してきた場合の対応や救急車の適正利用について、市民の皆様へ周知するための効果的な方法は何だと思えますか。



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。(次ページ以降も同じ。)

【その他回答】

- ・予算の許す限り、すべてやっても良いと思う。(同様の意見多数あり)
- ・ツイッターやInstagramなどのSNS。(同様の意見複数あり)
- ・学校など幼少期から教育する。(同様の意見複数あり)
- ・イベントでパンフレットを配るなどして周知する。
- ・国がCMを流して周知する。
- ・回覧板・防災無線を使用する。
- ・厳罰を科す
- ・県管轄になるが、免許更新時の周知
- ・判断できるようにフロー図の記載をお願いしたい。
- ・適正利用でない者の氏名を公表してください。
- ・ちいき新聞に掲載する。
- ・#7009に電話すると何が起るのか。どういう時に#7009に電話するのか、119番とどう違うのか等を具体的に詳しく説明する。
- ・病院などで呼び掛ける。
- ・利用者に届くような周知のやり方が良いと思うが、利用者がどんな方々なのか分からない。
- ・ウェブや「広報あびこ」など、ターゲットに合わせて活用する。

<コメント>

広報あびこへの掲載、ポスターの掲示が効果的との意見が約77%と多数を占めました。広報あびこでの周知方法は、全世代から圧倒的な支持を得ています。

ホームページやSNSを使用している周知方法を考えていましたが、紙ベースでの周知方法の有効性を改めて感じました。

また、人が集まる場所での具体的な説明等も取り入れ、全世代に対し救急車等が緊急走行して接近してきた場合の対応や救急車の適正利用についての周知を図っていきます。